

平成29年度岩手県在宅医療人材育成基盤整備事業

「第2回 意思決定支援のための研修会」

主催：北上医師会 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

1月20日、北上済生会病院大会議室にて、ホームクリニックえんの千葉恭一医師・高橋美保氏・櫻井茂氏・杉田賢二氏を講師に迎え、「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」が開催されました。医療介護に携わる参加者31名は、臨床における倫理的判断を行う上で、どのような内容についてどのように考えるべきかについて理解し、厚生労働省「プロセスガイドライン」に準拠した意思決定支援を妥当に実践することや、患者のアドバンスケアプランニングに適切に関与することが出来るようになることを目的に学びました。事例をもとにロールプレイでそれぞれの立場になって考えることが出来、難しいながらも有意義な研修でした。意思決定支援は尊厳を守り支援していく中で重要な研修でした。

多職種連携事例検討会・ケアラボ@きたかみ

主催：北上市・北上市地域包括支援センター主任介護支援専門員部会
北上市在宅医療介護連携支援センター

平成30年2月、ケアラボ@きたかみ（多職種事例検討会）が、29年度ファイナルを迎えました。第5回（1月18日）では、ホームケアクリニックえんの杉田賢二作業療法士/八天の里在宅介護支援センター高橋寛美主任介護支援専門員を事例提供者に迎え、「転倒をきっかけに不安や心配事が増大した事例」について検討を行いました（参加者数64名・16職種）。第6回（2月7日）のファイナルは、さくらホール小ホールを会場に、ケアマネジメント支援会議と合同で開催しました。（参加者数104名・17職種）地域包括支援センターわっこ老林聖幸氏より、動画によるこれまでのケアラボ振り返りのあと、北上市長寿介護課高橋直子氏より北上市の圏域別基本情報の説明、包括北上中央伊藤和子氏・本通り平野好子氏による、「まとめ・見えてきた課題について」の報告が行われました。その後、「地域課題カード」を用い、5つの地域包括エリアごとに分かれ「それぞれの地域について考えよう」と題した多職種グループによる地域版ケアプラン作成を行いました。ケアラボ@きたかみは、地域包括ケアビジョン“長寿を喜び合えるまち”を実現するため、医療・介護・福祉による連携体制構築を目指し、次年度も継続開催し、顔の見える関係づくりとネットワーク形成を行っていきます。

平成30年度初回は、4月26日（木）18：30～北上市役所を会場に開催します。たくさんの皆さまのご参加をお待ちしております。



平成 29 年度第 2 回 3 病院連絡会 主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

3月9日、県立中部病院にて、花北病院・県立中部病院・北上済生会病院の看護師・ソーシャルワーカーなど、26名が集まり、平成29年度第2回3病院連絡会が開催されました。主な内容は以下の通りです。

- 1) きたかみ型地域包括ケアビジョン・北上市在宅医療推進連携事業について（北上市長寿介護課より）
- 2) 2018年度診療報酬・介護報酬同時改定「医療と介護の連携強化」について（連携支援センターより）
- 3) 各病院からの取り組み状況報告（医療介護連携について）
- 4) グループワーク「入退院時のケアマネジャー連絡『在宅情報』の活用について」

3病院ともに、『在宅情報』（ケアマネジャー⇒病院への情報シート）は入退院時の支援に非常に役立っていることがわかりました。また、カンファレンスやサマリーなどの重要性についても話し合われました。

口腔ケア研修会

共催 北上済生会病院 北上市在宅医療介護連携支援センター

2月7日、北上済生会病院にて「北上歯科医師会の地域医科歯科連携の取り組み」と題してあや歯科医院院長高橋綾氏を講師に研修会が開催されました。回復期機能を担う病院における口腔ケアの重要性及び北上地域における医科歯科連携の重要性や多職種連携の実践について学びました。「摂食・嚥下リハビリテーション～当院における ST の関わりについて」をリハビリテーション科言語聴覚士平野涼子氏、「当院の嚥下食の紹介」を栄養管理科主任管理栄養士佐藤智子氏、それぞれ実際に行っている取り組みについて発表されました。参加者は院内80名と院外13名がありました。今後は歯科医師会との連携で充実を図るよう取り組みの方向性が示されました。



多職種連携による在宅における薬学的管理推進モデル事業

報告会・シンポジウム

主催 岩手県薬剤師会・北上薬剤師会

1月30日、日本詩歌文学館を会場に、薬剤師と介護支援専門員等による同行訪問報告会が開催され、基幹的な役割を担う5薬局・5包括（①サンケア薬局県立中部病院前店×包括いいとよ、②常盤台薬局×包括展勝地、③つくし薬局大堤店×包括北上中央、④キセキレイ薬局×包括わっこ、⑤あさひ薬局×包括本通り）より報告が行われました。その中で、薬剤師及び介護支援専門員等が協働して訪問を行うことで、ご本人、ご家族の生活を見させていただくことの重要性、生活に寄り添った支援の大切さ、薬を飲むことの重要性をご本人やご家族が理解し自分自身で薬を飲むことの大切さ、自立支援が重要である、などの報告が行われました。

また、2月25日、岩手県薬剤師会主催による「在宅患者への薬学的管理・服薬指導を実施し、在宅患者の薬に対する理解を深めるとともに、薬物療法の有効性及び安全性の向上を図ること」を目的としたシンポジウムが、盛岡劇場メインホールにて開催されました。

【内容】テーマ：「ひとつになろう！（地域住民のための多職種連携）～All Together」

○モデル事業報告 ファースト調剤薬局伊藤貴文氏が北上市の取り組みについて報告しました。

○パネルディスカッション「多職種連携の現状と課題～薬剤師ができること、薬剤師がすべきこと～」

北上・花巻・宮古・釜石それぞれの現状報告が行われ、北上市からは、北上市在宅医療介護連携支援センター菊池絹子看護師がパネリストとして報告を行いました。

訪問看護×北上済生会病院情報交換会

主催 北上市在宅医療介護連携支援センター

2月6日、北上済生会病院にて北上市内の訪問看護ステーション5か所とくくる花巻訪問看護ステーションの訪問看護師、北上済生会病院のMSW・看護師による情報交換会が開催されました。参加者37名は、4つのフェーズに沿って、困っていることや解決するための意見交換を行いました。退院支援の場で忘れてはならない、ご本人の本来の生活に戻すという視点や、療養支援の課題、急変時や看取り体制についても活発な意見が交わされていました。休日夜間の緊急連絡体制や自宅看取り体制の整備が今後の課題として出されました。



第3回幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会

～Bon Voyage (良い旅を) 編～』主催 北上市・北上市在宅医療介護連携支援センター

2月16日、北上市と在宅医療介護連携支援センター主催による市民と医療・介護・福祉専門職の顔の見える連携企画、『幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会』がさくらホールで開催され、34人が参加しました。昨年8月に開催された市民フォーラムをきっかけとして、有志が集まり立ち上がった勉強会です。毎回設けられている“学びの時間”では、『医療ソーシャルワーカー（以下MSW）の仕事を通して、やっておいた方が良くと思う心づもり』について中部病院の佐々木ゆかりMSWと北上済生会病院の菅原詩織MSWにお話していただきました。また“しくみを考えあう時間”では、コーディネーター（中部病院/星野彰医師）の進行で『心づもりをするためのノート』について、他自治体等で作成されたノートを見ながら意見交換を行いました。その後、「心づもりをするきっかけになるノートを北上でも作ってみては？」という意見がまとまり、勉強会の中から有志でノート作成班を結成し、ノート案を作ってみるようになりました。今後は第4回（5月頃開催予定）までにノート案を完成させ、勉強会で意見交換しながらノートを完成させる予定です。勉強会はどなたでも参加ができますので、関心のある方は北上市長寿介護課までお問い合わせください。



出前講座 感染症について

主催 北上市在宅医療介護連携支援センター

2月27日、ニチイ学館ニチイケアセンター黒沢尻にて「感染症について」出前講座を行いました。柴内医師よりインフルエンザ・感染性胃腸炎と手洗いとアルコール消毒について、菊池看護師は環境衛生について講義を行いました。クイズや体験を交えて楽しく学び、参加者28名は手洗い手指消毒など日常生活で実践できそうな内容だったと話されました。センターでは、事業所への出前講座を行っておりますので希望される場合はお気軽にお問い合わせください。



第4回きたかみ生活相談員連携会

主催：きたかみ生活相談員連携実行委員 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

2月26日、北上済生会病院にてきたかみ施設・相談員連携会が開催されました。総合事業の取り組みについて、各種書類作成の疑問などについて情報交換を行いました。総合事業は始まったばかりでわからないところが多いようですが、「各種、様式や他事業所の取り組みなどを知ることが出来た」「書類記載時の工夫も参考になった」という声が聞かれ、情報を共有できる場となっていました。



平成29年度第3回北上市在宅医療介護連携推進協議会

3月1日、北上済生会病院にて第3回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。今回から新たに岩手県看護協会北上支部新村節子氏と岩淵医師会理事をメンバーに迎え、報告・協議が行われました。北上市・北上市在宅医療介護連携支援センターより、下半期事業報告、職能団体等の代表である参加者の皆さまより、取り組み報告が行われました。心づもり勉強会による心づもりノート作成部会の立ち上げ、北上ケーブルテレビの市政番組「しらゆりだより」で特集番組が放映されたこと、入退院支援部会の立ち上げ準備中であること、認知症ケアパス「認知症安心ガイド」完成・全戸配布（北



上市/北上市各地域包括支援センター作成・北上医師会協力)、介護予防研究会、などの報告が行われました。次に北上市より、第Ⅲ期(平成30~32年度)の方針案が報告されました。平成29年度までに取り組んだ地域資源把握及び課題抽出と、多職種のネットワーク形成を活かしながら、「多職種連携向上・市民意識醸成期」として、在宅チームケア体制の構築に向けた具体的な課題解決と市民ニーズに配慮した意識啓発に取り組んで行くこと、多職種連携の深化・顔の見える関係のその先へと取り組みを進めていくことが示されました。重点方針として、在宅チームケア体制の構築、医療・介護人材の育成の2点が示され、診診・病診連携、看取りの支援、研修ニーズ調査、などを行っていくことが報告されました。



慣れ親しんだ場所で暮らし続けるために

「在宅きたかみ」は、住み慣れた地域で
病気や障がいがあっても暮らし続けることができるように
様々な取り組みを行っております



いよいよ4月16日、北上市在宅医療介護連携支援センター・通称「在宅きたかみ」のホームページ <http://zaitaku-kitakami.com> が開設します！ 研修案内や連携支援事業報告、事業所情報などの情報をいち早くお届けし、医療と介護に関わる専門職、各施設間、行政など、相互の連携を支援していきます。たくさんの方のご利用をお待ちしております。

事業説明しております。1月26日北上市老人福祉施設連絡会、3月7日岩手県看護協会北上支部に事業の説明に向いております。ご要望があればお伺いして説明もさせていただきます。また在宅医療介護連携に関することでご相談がありましたらご連絡ください。

編集後記：寒い冬でしたがやっと窓からさす光が暖かくなり、ほっとしています。まだ、寒暖の差が激しい日が続きますがお体に注意してお過ごしください。
発行：北上市在宅医療介護連携支援センター
〒024-8506 北上市花園町一丁目6-8(北上済生会病院管理棟2階)
TEL：0197-88-3011 FAX：0197-88-3012